

### 3章 登別市のみどりの現況特性と課題

#### 1. みどりの構成要素

登別市は海と山に囲まれ、多くの河川が流れ、身近に水とみどりを感じることができるまちです。登別市のみどりの構成は、下表のとおりです。

登別市のみどりの構成要素	<b>市域をとりまく自然のみどり</b> 鷺別岳、カムイヌプリ、来馬岳、登別岳、加車山、日和山、 四方嶺、橋湖や倶多楽湖
	<b>市街地を囲む山辺と丘陵地のみどり</b> 市街地の背後の斜面緑地、ボンズ山、札内台地など
	<b>市街地を流れる川辺のみどり</b> 鷺別川、上鷺別富岸川、富岸川、胆振幌別川、来馬川、 岡志別川、登別川、クスリサンベツ川、ポンアヨロ川など
	<b>市街地に面する海辺のみどり</b> 連続する海岸線、鷺別岬、蘭法華岬、フンベ山、 防潮林（富浦地区）、海浜植物など
	<b>市街地の中のみどり</b> 公園、道路のみどり、学校など公共施設のみどり、民間施設のみ どり、住宅地のみどり、キウシト湿原などの湿地など



## 2. みどりの構成要素の現況特性と課題

### (1) 市域をとりまく自然のみどり

#### ●みどりの現況特性

- 市域の大部分が、自然性の高い豊かな森林でおおわれていますが、そのほとんどは保安林や地域計画対象民有林に指定され、法による規制がかけられています。
- 橘湖や倶多楽湖など自然豊かな湖沼は、その周辺のみどりも含めて観光資源となっています。
- 市域北東の山岳地帯は、支笏洞爺国立公園に指定されています。
- 登別温泉周辺の原始林は、天然記念物に指定されています。
- 鷲別岳山頂一帯は、周辺には見られない独特の植物種が分布しており、北海道自然環境等保全条例に基づく「学術的自然保護地区」に指定されています。
- 鉾山地区は、市民の自然体験、環境教育の拠点としてその活用が進められています。

#### ●みどりの課題

- 市域をとりまく自然のみどりは、学術的にも防災面からも重要であるとともに、野生生物の生息空間となっているため、保全を基本としながら、利用を図ることが求められています。
- 橘湖や倶多楽湖周辺は、観光資源にもなっているため、保全を基本としながら、利用を図ることが求められています。
- 鉾山地区は、今後も市民が自然とふれあい、学習できるような環境づくりを進めることが望まれます。

■ 観光ポイントにもなっている  
自然豊かな倶多楽湖



## (2) 市街地を囲む山辺と丘陵地のみどり

### ●みどりの現況特性

- 山辺のみどりは、住宅地に隣接しており、市民が身近に自然を感じふれあうことのできる貴重な環境です。
- ボンズ山や幌別ダム周辺などは、市民の身近な散策の場所として親しまれています。
- 札内地区などの丘陵地帯に広がるみどりは、前面に太平洋を望み、雄大な田園風景を形成しており、登別市を代表する景観のひとつとなっています。

### ●みどりの課題

- 山辺のみどりは、保全を基本としながら、市民が自然と親しめるように利用を図ることが求められています。
- 丘陵地のみどりは、自然体験を通して、人々が交流できる場として、また観光資源として活用することが望まれています。



■市民がみどりと身近にふれあうこと  
ができる幌別ダム周辺



■豊かなみどりが広がる札内台地の牧草地  
と来馬岳。

### (3) 市街地を流れる川辺のみどり

#### ●みどりの現況特性

- 市街地を流れる河川は、市民が釣りやバードウォッチングなどを通して身近に自然とふれあえる空間となっています。
- 市街地を流れる河川のほとんどがすでに整備されており、住宅なども隣接しているためみどりの量が少ない現状です。

#### ●みどりの課題

- 市街地の河川では、魚類や野鳥など野生生物の生息に適した環境づくりが必要です。
- 河川空間は市民にとって地域のみどりを感じとることができる景観要素です。このため、河川の特徴を考慮しながら、河川空間のみどりを増やしていくことが必要です。
- 災害時に市街地の延焼遮断や避難路としての機能を果たせるように並木の形成や散策路の整備などを進めることが必要です。

■市内で最も大きな胆振幌別川。白鳥テラスも整備され、冬期には多くの渡り鳥が飛来する。



■サクラ並木などにより地域の人々に親しまれている鷺別川

#### (4) 市街地に面する海辺のみどり

##### ●市街地に面する海辺のみどりの現況特性

- 海岸は、砂浜が少ないため海浜植物などのみどりが乏しい状況です。
- 鷺別岬、蘭法華岬付近、フンベ山などの崖上には、低山帯植物と海浜植物が混在している貴重なみどりがあります。
- 富浦地区の防潮林は、海辺のみどりが少ない登別市にとって潮風を防ぐ機能も兼ね備えた連続した貴重なみどりです。

##### ●市街地に面する海辺のみどりの課題

- 海浜植物を保全育成するために海岸環境を整えることが必要です。
- 市民が海辺のみどりに親しめるように、散策路などを整備することが求められています。
- 地域のシンボルとなっている鷺別岬、蘭法華岬付近、フンベ山のみどりは、保全することが必要です。
- 富浦地区の防潮林は、海辺のみどりを代表する貴重なみどりであることから今後も保全することが求められています。



■砂浜の続く海岸線  
市街地から意識されることが少ない



■富浦地区の防潮林  
カシワやクロマツが連続する

## (5) 市街地の中のみどり

### ●みどりの現況特性

#### 【公園】

- 亀田記念公園や川上公園、岡志別の森運動公園などの大きな公園は、市民の憩いの場として親しまれています。
- 市民の日常的なレクリエーションの場である公園が少なく、特に鷺別地区や登別地区などはその状況が顕著です。
- 既存の公園のなかには、さまざまな理由により利用頻度の少ないところがあります。
- 市街地の公園は、災害時の一時的な避難場所に指定されています。

#### 【道路のみどり】

- 市街地の幹線道路網は、国道、道道、市道が機能的に結びついて形成されていますが、全体的に豊かな街路樹が確保されている状況ではありません。



■花見を楽しむ市民でにぎわう  
亀田記念公園



■さまざまな理由により、あまり利用されていない街区公園も少なくない

【公共施設のみどり】

- 市役所や支所などの公共施設の大部分が、敷地にゆとりがないためにみどりの量が少ない状況にあります。

【民有地のみどり】

- 登別地区では、大きな庭を持つ住宅が数多く見られ、豊かなみどり景観が形成されています。
- 工場の多くは、みどりが少ない状況にあります。
- 新興の住宅では、花を中心とした美しい庭づくりが数多く見られます。

【湿原】

- 市街地の多くは、湿地を開発して形成されてきましたが、キウシト湿原などは、市街化が進むなかで残された貴重なみどりです。

■住宅地の庭先のみどり



■多様な生物が生息するキウシト湿原は、市街地の中に残された貴重なみどり



---

## ●みどりの課題

### 【公園】

- 公園の少ない地区を優先して公園の整備を進めることが必要です。
- 施設の老朽化や地域の実情に合わなくなった公園は、市民参画で計画づくりを行い、利用者ニーズに配慮した再整備を進めることが必要です。
- 公園は、日常的なみどりの空間、身近なレクリエーションの場、災害時の避難場所であることから、適正な配置を進めることが必要です。
- 既存の公園では、今後も植栽などを進めて、延焼遮断など災害の拡大防止機能を高めることが大切です。

### 【道路のみどり】

- みどり豊かな街並みの形成と延焼遮断など災害の防止のために、市内の主要幹線道路では、街路樹の育成を進めることが大切です。特に、みどりの少ない国道にボリュームある街路樹を育成することが求められています。
- 路線ごとに樹種の統一を図り、特徴のあるみどりの街並みを形成することが必要です。

### 【公共施設のみどり】

- 市街地にまとまりのあるみどりを形成する上から、公共施設の緑化を積極的に進めることが求められています。
- 小・中学校などの公共施設は、緊急時の避難場所に指定されており、防災機能を高める上からも、積極的な植栽が必要です。

### 【民有地のみどり】

- 市民の協力により、住宅地のみどりを増やし、みどり豊かな市街地を形成することが求められています。
- 緑化条例などの制定により、住宅地や工場のみどりについて、緑化を積極的に進めることが必要です。
- まちのランドマーク\*となるような樹木を、保護樹として指定する必要があります。
- 市街地の中にある屋敷林や鎮守の森などのまとまったみどりについては、保全することが必要です。

### 【湿原】

- 多様な生物の生息空間を保全する上から、キウシト湿原など貴重な湿原の保全を図ることが求められています。